

銀行に行く前に読んでおきたい専門用語

元金均等	借入金の元金を均等に返済していく方法。毎月の支払額は元金＋利息なので、返済が進むにつれて利息が少なくなり、支払額は減っていく。元利均等より元金の返済ペースが速いので、トータルの利息支払額は少なくなる。
元利均等	借入金の元金と利息の合計額が一定額になるように返済していく方法。返済が進むにつれて利息部分が減って、元金の返済が多くなる。元金均等より当初の支払額は少なくなる。
運転資金	開業後に医院を運営していくための資金。数か月～1年程度の経費と同額のイメージ。銀行は運転資金をまかなえる程度の自己資金は求めてくることが多い。
借り換え	既存の借入金を、金利や返済期間の有利な別の金融機関に借り換えること。
国金(こっきん)	日本政策金融公庫の旧称。政府系の金融機関で金利が比較的安く、担保や保証人がない場合でも融資を受けることが可能。
プロパー融資	保証協会を利用せずに銀行から融資を受けること。
保証協会	借主が返済できない場合に、代わりに銀行へ弁済してくれる機関。銀行はリスクが減るので融資をしやすくなる。ただし、利用するには保証料が必要になる。
リスケ	リスケジュール。返済が苦しい場合に、返済額を減らしたり、返済をストップすること。
担保に入れる	銀行が土地や建物などの不動産に抵当権を設定すること。返済出来ない場合には、銀行はその不動産を売却して貸付金を回収する。
根抵当	融資の限度額を決めて、その金額で抵当権を設定すること。5,000万の根抵当を付ければ、1回目2,000万、2回目1,000万というように複数融資を受ける場合でも、その都度抵当権を設定する必要がなくなる。
保証人	ほとんどの場合、銀行は融資の際に連帯保証人を求めてきます。連帯保証人は借主と同じように返済の義務を負い、銀行は連帯保証人に請求することができる。